

子宮がん・乳がん集団検診のご案内

婦人科検診を受けましょう

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がん（子宮内膜がん）があります。

子宮頸がんは、子宮口付近に発生することが多い病気です。年齢別にみた子宮頸がんの罹患率は、20歳代後半から40歳前後まで増加した後、緩やかに減少して、70歳頃再び増加します。近年、罹患率、死亡率ともに若年層で増加傾向にあります。

乳がんの罹患率は30歳代から増加し始め、50歳前後にピークを迎え、その後は次第に減少します。罹患率、死亡率ともに一貫して増加しており、出生年代別では、最近生まれた人ほど罹患率、死亡率が高い傾向があります。

どちらのがんも早期に発見することで治癒する確率が高くなる病気ですので、定期的に検診を受け、健康管理に心がけましょう。

集団検診（要予約）

- ▼実施日：平成25年1月26日(土)
- ▼申込期間：平成25年1月7日(月)～9日(水) 午前9時～午後5時(土、日を除く)

検診年齢区分	検診項目	負担額
子宮がん検診		
20歳以上の方	子宮頸部細胞診	600円
乳がん検診		
20～39歳の方	超音波	600円
40～49歳の方	超音波+マンモグラフィ（2方向）※1	1200円※2
50～56歳の方	超音波+マンモグラフィ（1方向）※1	1200円※2
57歳以上の方	マンモグラフィ（1方向）※1	600円

※定員になり次第締め切ります。
 ▼会場：谷和原保健福祉センター
 ▼申し込み方法：次のいずれかの方法でお申し込みください。
 ①申し込み受け付け専用電話：☎25・2983（につこりつくばみらい）
 ②谷和原保健福祉センター窓口
 ※本人または同一世帯のみ受付可能。

平成23年度、市が実施する婦人科医療機関検診を受診された方（検診結果が要精密検査だった方は除く）に、「子宮がん・乳がん医療機関検診受診券」を、4月2日に郵送しました。
 ※ただし、57歳以上の乳がん検診につきましては、平成22年度に医療機関において、乳がん検診を受診された方に郵送しました。
 有効期限が近くなると、医療

※1マンモグラフィは被爆量を考慮し、2年に1回の受診となります。そのため、40～56歳の方で、前年度マンモグラフィを受診された方は、今年度は超音波のみとなります。
 ※2超音波のみは600円
 妊娠中の方や乳房のしこり、不正出血などの自覚症状のある方は、市が実施する検診の対象になりません。直接、医療機関に受診してください。
 また、授乳中の方は、乳がん検診において、正確な検診結果が得られない場合があります。

問 健康増進課（がん対策室）
 ☎25・2100

四種混合予防接種の導入について

11月1日より、定期予防接種に四種混合ワクチン（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）が導入されました。平成24年8月1日生まれ以降の方は、四種混合ワクチンの接種になります。
【定期接種対象者】
 生後3カ月～7歳6カ月未満で、四種混合ワクチン導入時点（平成24年11月1日）に、まだ三種混合ワクチンと単独不活化ポリオワクチンのいずれの予防接種も1度も接種されていない方。

【実施方法】
 協力医療機関での個別接種となりますので、事前に電話予約
【予診票について】
 平成24年8月1日生まれ以降の方へは、個別に四種混合予防接種予診票をお送りしています。定期接種対象者の方で、四種混合予防接種予診票をお持ちでない方は、健康増進課窓口（谷和原保健福祉センター内）で交付しますので、必ず母子健康手帳をご持参ください。

問 健康増進課（がん対策室）
 ☎25・2100

「子宮がん・乳がん医療機関検診受診券」が郵送された方へ

忘れずに活用ください

平成23年度、市が実施する婦人科医療機関検診を受診された方（検診結果が要精密検査だった方は除く）に、「子宮がん・乳がん医療機関検診受診券」を、4月2日に郵送しました。
 ※ただし、57歳以上の乳がん検診につきましては、平成22年度に医療機関において、乳がん検診を受診された方に郵送しました。
 有効期限が近くなると、医療

問 健康増進課（谷和原保健福祉センター内）
 ☎25・2100